

杉谷静一郎の日誌

(前略)

八

十七日

廿二日 大雨

午前九時頃

十九日

廿三日 大風雨 追々強雨ト

相成從夜大雨

夕方折川小山午ヨリ伐出し梅ノ木土場江揚ケ有之杉ぼた流失ノ  
害有之ト相考、土井幸助、同利吉、松本佐太郎、同与三郎、細川秀松  
土井惣三郎、田中兵助、土井安吉、入平松本虎吉等該木江村木ヲ以テ荷  
引致夕方ヨリ追々強雨ト成リ所々山山明等ニテ大洪水ト相成リ  
平水 五丈余ノ高水ナリ  
実ニ古今未曾有ノ事ニテ開闢以來ノ天災ト云フベシ所々  
災害ノもようハ廿四日ノ日誌ニ記ス

二十日

廿四日 午後三時頃迄

大雨夫 小降トナル

折川筋所々山抜就中石滝ノ向イ寒川与助山林大崩一時湖水ヲナシ其堰  
切レ石滝玉林堂杉山中平構石  
東村景況 下夕不殘立木ノ俛流失栗ノ木田地四反余大田筋悉皆流失尤折川口旧  
川異ジテ

大田崎江直ニ切レ川トナル○入生向イ五味善之右衛門■山大崩レニテ  
一時湖水トナリ為メニ入平

善吉国楠、嘉之助、おしげ、佐吉、友吉、岩吉、重助方蒙流失五味  
佐四郎宅半流

丹生社撰社長床等流失本社半流レ大破損入平人民八五味録郎方江寄  
合夫

白山ニ登リ大応寺へ移リ同所ニテ夜明ス入平ニテ佐吉ノ妻流失死亡  
ス○栃久保垣内

大荒ハ大多屋ノ瀬戸崩ナリ尤原氏上ミ長屋ノ後口端 上ミ土井ノ段  
赤田ノ端迄悉崩レ役場押出し

半潰大多屋上雪隠風呂場等ノ建物皆潰シ○南碓田畑皆荒尤井谷杉山崩  
レ込夫ヨリ

高橋廻リヲ初都テ川端田地悉皆流失○田宮重助方家長屋皆潰尤池破壊  
ノ為メナリ

夫 上ミ六之助方初山崩レノ為メ潰込家数多有之○上ノ碓田ノ岡友太  
郎方玉置兵作方

松本弥之助方何レモ瀬戸山ノ崩レニ依テ家潰シ村内田地ノ流失凡五  
分五厘位イ

前垣内平ン田 三杯目下夕田地迄水揚リ又栗の木屋敷田迄水上リ禿ノ木

ナル大木流レ込有之

備考 玉林堂屋敷瀬戸江前年来洪水ノ節八湧出有之由ニ聞ケリ果シテ今回モ座敷ノ后口及本家ノ瀬戸又長屋ノ後口等

三ヶ所程水涌出為メニ庭ニ水溢レ已ニ敷板迄モ浸水ノ景況ニ付庭敷居下夕堀抜溝通ス因テ将来注意スベシ